

令和3年度事業報告書

特定非営利活動法人

子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

はじめに

コロナウイルス感染拡大防止策については「アイプラザ半田の管理運営に係る新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」をもとに昨年に引き続いて実施してきた。具体的には昨年度に引き続き下記の対策を生徒・スタッフ・来訪者とも確実に遵守する。

3密（密閉・密集・密接）の回避を基本とし①マスクの着用②入室前の検温③手のアルコール消毒④入室・退出時の滞在記録簿の記帳⑤大声で話さず、控え目な会話⑥室内換気⑦手洗いとうがいの徹底⑧教室開錠・施錠直前、施設内のドアノブ机椅子などのアルコール消毒を徹底⑨事前及び活動中の発熱・体調不調の場合、登校を禁止及び直ちに下校させる。

1. 事業実施の概略

本団体は、不登校、引きこもり等に悩む若者や保護者の方々に、相談業務、フリースクールでの学習及び生活指導を通して相互の理解と協力関係を構築してきた。（定款第3条）そこで、特定非営利活動に係る（1）フリースクールにおける青少年支援活動、（2）スタッフのカウンセリング研修事業（3）青少年の健全育成に関する事業について、それぞれの事業を展開してきた。（定款第5条）以下その詳細について報告する。

2. 事業の実施に関する事項

（1）青少年支援活動事業

ア フリースクール支援事業

（ア）事業内容

a 学習指導及び生活指導

・日 課

（検温・・・教室入室記録、教室内消毒）

9：30～9：40 諸連絡

9：40～11：30 自主学習（基礎学力充実）

11：30～12：30 軽運動室にて卓球（水・木曜日）

12：30～13：30 昼食

13：30～15：00 リクリエーション、手芸、ゲームなど

（教室内消毒・教室退室記録）

・毎週木曜日 2部学習支援 14：30～16：30…青少年の学習支援と居場所の提供

内容（交流、学習、ダンスなど）

・利用施設は「アイプラザ半田」内 109号、110号室（本スクール活動室）

1学期：4月7日～7月20日（夏休み7月21日～8月23日）

2学期：8月24日～12月23日（冬休み12月24日～1月6日）

3学期：1月7日～3月24日（春休み3月25日～4月6日）

b 進路相談

- ・中学3年生は1名だけで、定時制や公立通信制を受験する対象者がいなかった。進路支援だけで特別に入試問題練習、模擬面接、作文添削指導は実施しなかった。

c スポーツ・リクリエーション（市教育委員会による減免措置を受けている）

- ① 月1回主に火曜日13:00～14:00 半田市体育館（主にバスケット、バドミントン）
- ② 毎週水・木曜日11:30～12:30 施設内の軽運動室（卓球）で、人員制限して実施している。
 - ・毎回参加者生徒平均2～3名

d 相談業務（カウンセリング）

- ・必要に応じ適宜行っている。①本人の申告によるもの。②スタッフが必要と認めたもの。
- ③緊急に必要と認められた場合。④進路支援に関する相談業務。⑤予約相談：毎週月曜日及び毎月第3土曜日（9:30～17:00）

e アニマルセラピー

- ・毎月第三火曜日・ボランティア団体の協力のもと、主に中庭を利用して動物に触れ合う。コロナ下にあって、本年度は中止となった。新年度は再開の予定である。

f 令和3年度卒業・修了を祝う会

- ① 開催日時：令和4年3月26日（土）10:00～12:00
- ② 会場：半田市東洋町1-8 アイプラザ半田2階第4会議室
- ③ 内容：祝う会

参加者：卒業生2名（中学生1名、小学生1名）修了5名（高校生など3名、小学校生2名）
保護者4名 兄弟2名 スタッフ10名

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者は卒業生、修了生、保護者、スタッフだけの参加ではあったが、代表理事による一人一人への言葉を添えてお祝いの色紙を手渡しをする光景は、生徒たちの成長の証を語るものであった。その後、卒業生、修了生や保護者からお礼の言葉をもらったり、スタッフからの励まし言葉を掛けてもらったりと和やかで心温まる会となった。ご協力頂いた関係者に感謝申し上げたい。

（イ）従事者人数

1日平均3～4名

（ウ）受益対象者人数

3～5名

（エ）費用総額 440,794円

内訳：（教材費35,933円 行事費1,232円 印刷製本費150円 会議費1,248円
旅費交通費334,320円 消耗品費63,911円 貸借料4,000円）

（オ）収益 0円

イ 「ハートルーム」及び「寺子屋事業」

（ア）事業内容

- a. 「ハートルーム」：毎月第三土曜日（10:00～15:00）、に小学生を中心に学習、遊び、工作、

手芸、講師を依頼しての特別教室などの活動を展開している。保護者も参加している。

b. 「寺子屋事業」：生活困窮者自立支援法・第7条学習支援に基づいて、半田市が生活困窮者の家庭の子どもたちを対象とし、本団体が実施団体として協力しているものである。その実施内容は、工作、手芸、ゲーム、コマ回し、リクリエーション、歌、新聞作り、野外観察などに取り組む。また、本団体の「寺子屋事業」は「半田市子ども未来部子ども育成課」（本年度4月より「健康子ども部子育て支援課」より名称変更）が共に生活困窮者自立支援ネットワーク協議会と連携し、協力関係を維持しながら現在に至っているものである。

(イ) 利用施設：上記a,bとも、活動場所は教室、中庭、軽運動室、半田市内の公園

(ウ) 従事者人数：「ハートルーム」「寺子屋事業」とともに3~4名、他にボランティア学生若干名。

(エ) 「ハートルーム」の受益対象者人数、1回平均13名（内訳：小学生8名、中学生3名、高校生2名）

(オ) 親たちによる「おしゃべり会」ハートルーム開催日13:00から毎回出席者2~5名

(カ) 「寺子屋事業」の実施期間と受益対象者人数

夏期：寺小屋事業…7月26(月)、27(火)、28(水)、29(木)、8月19(木)、20(金)、21(土)

※受益対象者人数：17名 小学生7名 中学生7名 高校生2名（スタッフ4名）

冬期：寺子屋事業…12月23日(木)、24日(金)、25日(土)(以上13時～16時)

※受益対象者人数：14名 小学生4名 中学生8名 高校生2名（スタッフ4名）

春期：寺子屋事業…3月28日(月)、29日(火)、30日(水)

※受益対象者人数：13名 小学生6名 中学生5名 高校生2名（スタッフ4名）

(キ) 費用総額 128,916円

内訳：(教材費1,100円 行事費13,752円 旅費交通費81,680円 通信運搬費588円
消耗品費21,574円 雑費972円 貸借料4,000円 会議費5,250円)

(ク) 収益 0円

ウ O B・O G活動支援事業

(ア) 事業内容

a. 卒業生や高校生を中心とする進路・悩み等の相談業務への対応

b. のばす会への行事参加

(イ) 従事者人数 3名

(ウ) 受益対象者人数

年間13名：本年度もコロナ下による出席者数の減少等に若干の影響があったとみられる。

(エ) 費用総額 3,188円

・内訳：(消耗品費3,188円)

(オ) 収益 0円

工 第2部学習支援事業

(ア) 事業内容

a. 毎週木曜日14:30～16:30)参加者は中学生、高校生、卒業生たちへの居場所の提供

b. 学習支援：新型コロナウイルス感染拡大防止のため学生ボランティアによる学習支援が行われず、自学自習を中心に進めた。

c. 進路相談：本人の将来への希望を第一に、スタッフの助言によって行われた。

(イ) 従事者人数

- ・ 1日平均 3名

(ウ) 受益対象者人数

- ・ 1日平均 2~3名（中高校生・卒業生）

(エ) 費用総額 72,086円

内訳：(教材費 2,346円 旅費交通費 65,500円 消耗品費 4,240円)

(オ) 収 益 0円

(2) スタッフのカウンセリング研修事業

ア カウンセリング研究会

(ア) 事業内容

- a. 臨床心理士を囲んで、過去及び現在における子どもの行動に関するケーススタディーを実施
- b. カウンセリング研究事業改革

(イ) 開催日時及び講師等

- ・ 毎月第4火曜日 19:30~21:00 アイプラザ半田 109号室
- ・ 講師：米村 高穂 臨床心理士

(ウ) 費用総額 33,980円

内訳：(教材費 1,760円、会議費 1,720円 旅費交通費 30,500円)

(エ) 収 益 0円

イ 親の会の座談会を開催（青少年の健全育成事業と兼ねる。）

(ア) 事業内容

米村高穂臨床心理士を招いて親御さんたちによる座談会を行った。率直な意見の交換を行い、子どもへの対応や疑問などを出し合って専門家の適切な助言と指導を通して、子どもの理解や親の会のあり方を考えた。

(イ) 開催日時

- ① 9月13日（月）13:30~15:30
- ② 10月31日（月）13:30~15:30
- ③ 11月15日（月）13:30~15:30

(ウ) 費用総額 7,540円

内訳：(旅費交通費 6,000円、賃借料 1,540円)

(エ) 収 益 0円

ウ 全国連絡会主催「登校拒否・不登校問題に関する・第25回全国の集い」参加事業

《※新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止》

(3) 青少年の健全育成に関する事業

ア 文化祭事業（※愛知県：まん延防止等重点措置発出中のため中止）

(ア) 開催日時：令和4年1月22日（土）10:30~13:30

(イ) 実施 会場：半田市東洋町1-8 アイプラザ半田2階・小ホール

(ウ) 実施時間帯：13：30～14：20

(エ) 実施 内容：

- (1) 代表挨拶
- (2) オープニング（ピアノ演奏、ハートルームによるペーパーサート）
- (3) 「今だから話せる第6弾」（卒業生2、親の会1）
- (4) スタッフ紹介 (5) 終わりの挨拶

(オ) 費用総額 2,960円

内訳：(教材費 2,204円 通信運搬費 756円)

(カ) 収 益 0円

イ 親の会座談会

スタッフのカウンセリング研修事業と兼ねるので詳細は上に記載する。文化祭の旅費交通費4,500円はこの費用とする。

・ 費用総額 4,500円

内訳：(旅費交通費 4,500円)

3. 古川一也公認会計士事務所コンサルティング

会計について処理の仕方などを相談し、適切な助言をいただいて処理してきた。

4. 日本福祉大学との連携(サービスラーニング)事業協力について

ア 事業の目標

サービスラーニングとは、NPO等との協力を得て社会活動を通して学生の市民性を育む学習を言う。そのことを通して有為の職業人、社会人の育成に資するものである。

具体的には、①学習・研究意欲の喚起②人間関係能力の養成③問題解決能力の養成等を目的とする。

イ 事業の実施方法

昨年はZOOMに拠ったが、今年度は対面指導での参加が可能となった。子どもたちの活動への参加、また学生自らの企画において行う活動が主なるものであった。また、ニュースレターなど資料提供、大学担当責任者の本NPO訪問、情報交換を行った。

ウ 事業の内容

(ア) 活動準備と総括の日程

a. 最初の打ち合わせ会<zoom：9：20～10：30>：令和3年6月4日（金）

当初予定されていた、日本福祉大学美浜キャンパスでの対面での開催予定は《新型コロナウイルス感染拡大防止》により中止し、ZOOMに依った。

b. サービスラーニング情報交換会：令和4年2月8日（火）10:00～12:00

知多市市民活動センター会議室にて、オンラインと対面（本団体）双方で行った。

(イ) 学生たちの具体的活動場所・・・教室、中庭、多目的ホール

(ウ) 活動の期間

・7月26日～29日及び8月19日～21日

(エ) 活動内容

- a. 一日の決められた日程：オリエンテーション（初日のみ）、はじまりとかえりの会の参加と観察
- b. 参加学生（4名（男子2名、女子2名））の活動内容の全日程
 - ・7月26日（月）：日本福祉大・学生企画（「お楽しみ会（夏祭りの魚釣り・射的）」）の準備工作
 - ・7月27日（火）：学習支援・室内遊び、絵本の読み聞かせ、学生企画（射的の鉄砲・的作り）
 - ・7月28日（水）：夏祭りの魚釣りグループと射的グループの活動支援
 - ・7月29日（木）：夏祭り・外遊び（水風船、水鉄砲、スイカ割り）の参加と支援、振り返り
 - ・8月19日（木）：学習支援と読書、振り返りシート作成支援、おやつ渡し
 - ・8月20日（金）：同 上
 - ・8月21日（土）：夏期寺子屋活動全体の振り返りシートの作成支援

エ 参加学生数・・・日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科2年生4名（男子2名、女子2名）

オ 担 当 者：伊藤 里香、伊藤 敦

大学担当者 日本福祉大学：担当責任者・大林由美子（担当教員）

力 事業収益 20,000円

5. 地域社会と行政及び社会貢献型企業の開催事業への参加

- ・企業の社会貢献活動事業「デンソーハートフルまつり」への参加・出展
(※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

6. 他団体との交流・協力のための会議・研修・情報交換

- ・半田市立横川小学校現職教育「不登校児童生徒に対するのばす会の現状と対応について」
7月29日（金）半田市立横川小学校 13:30～（赤松由隆）
- ・半田市立半田中学校コミュニティ・スクール特別講演会参加 11月26日（金）
半田市立半田中学校 15:00～16:30（赤松由隆）
- ・公立の定時制・通信制高校「説明&相談会」1月10日（月）東海市文化センター13:30～（榎原紀美子）

7. 見学者及び見学団体

- ・半田市学校教育課生徒相談担当 1名
4月15日（木）、5月20日（金）、6月18日（金）、7月28日（水）、8月31日（火）、1月7日（金）
- ・半田市立半田中学校校長 4月20日（火）
- ・半田市議会議員 1名 5月13日（木）、7月9日（金）、12月22日（水）
- ・半田市子ども育成課・家庭相談担当 1名 6月24日（木）、7月27日（火）、10月5日（火）
- ・日本福祉大学学生社会福祉学部学生（サービスラーニング参加学生）4名 6月25日（金）
- ・知多教育事務所家庭教育コーディネーター 1名 7月6日（火）
- ・半田市教育長 7月27日（火）
- ・日本福祉大学社会福祉学部教授 1名 8月19日（木）
- ・常滑市立西浦南小学校教諭 1名 2月8日（火）
- ・半田市観光課 1名 2月10日（木）
- ・あいち知多農業協同組合半田支店長。副支店長、他1名 2月15日（火）

8. 助成金に関する報告

ア 助成金の種類

・半田市 令和3年度生活困窮者就業準備支援事業等補助金 担当部署（半田市子ども育成課）

対象事業：「寺子屋事業」 助成金・・・130,000円

イ 助成金への対応 一層充実した活動に心掛け、お礼と共に定期的な会計及び活動報告を行った。

9. 寄付又は寄贈及び寄付金に関する報告

ア 寄付の種類

(1) 寄 付（支援物資を含む）

a 個 人

- ・募集方法：ニュースレター及び文書による募金のお願い、預金口座により寄付金を募る
- ・寄付者へのお礼をニュースレターに掲載する。

b 団 体

・JAあいち知多半田地域女性部 寄付金 29,677円

・ろうきん寄付システムのみな様 12ヶ月合計 111,200円

・物品(支援物資)寄付団体（日本証券業協会・「子どもサポート証券ネット」加盟会社）一覧

- ① 岩井コスモ証券株式会社
- ② 内藤証券株式会社
- ③ 丸三証券株式会社
- ④ 岡三証券株式会社

・支援物資の内容：（お米、食品詰め合わせ、味付け海苔、飲料水、レトルト食品、カップ麺、インスタント麺、ミネラルウォーター、消毒液等）

(2) 書き損じハガキと未使用切手の回収事業 切手代：22,594円（資産受贈益として計上）

回収事業を行い、のばす会に在籍した人たちや相談に来られた方に「のばす会・ネットワーク便り」や講座などの案内を郵送する通信費充てた。

(3) イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン 商品券： 9,800円（資産受贈益として計上）

(4) 図書券 8,000円（資産受贈益として計上）

(5) 個人のみな様より、食品や衣類、消毒液、文房具、本、雑貨など多くの寄付が寄せられた。

(6) 物品(支援物資)の寄付及び寄付金への対応

・寄付及び寄贈者に対して受領記録簿に記入の上、お礼及び会計・活動報告を例年同様継続して行った。

10. 広報活動について

(1) 本団体ホームページの 隨時更新

(2) ニュースレターの年3回の発行

ア 「のばす会・ネットワーク便り」第24号：2021（令和3）年4月5日発行

イ 「のばす会・ネットワーク便り」第25号：2021（令和3）年8月10日発行

ウ 「のばす会・ネットワーク便り」第26号：2021（令和3）年12月10日発行

※会員、寄付者、相談者、過去在籍者及び関係の個人や各関係各機関に配布した。

(3) 日本財団が運営する CANPAN に団体情報を掲載し、全国に情報を開示した。

1.1. 会議の開催に関する事項

(1) 理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和3年5月15日（土）11：00～12：00 アイプラザ半田 109号室

(イ) 議題

- ・第1号議案：令和2年度事業報告書について
- ・第2号議案：令和2年度活動計算書について
- ・第3号議案：令和3年度事業計画（案）について
- ・第4号議案：令和3年度事業予算（案）について
- ・第5号議案：役員変更（重任）について
- ・第6号議案：役員変更（新任）について

(2) 通常総会

(ア) 開催日時及び場所

・令和3年5月15日（土）13：00～14：00、アイプラザ半田第一会議室

(イ) 議題

a. 審議事項

- ・第1号議案：令和2年度事業報告書について
- ・第2号議案：令和2年度活動計算書について
- ・第3号議案：令和3年度事業計画（案）について
- ・第4号議案：令和3年度事業予算（案）について
- ・第5号議案：役員変更（重任）について
- ・第6号議案：役員変更（新任）について

b. 報告事項

- ・年間役員名簿について

以上